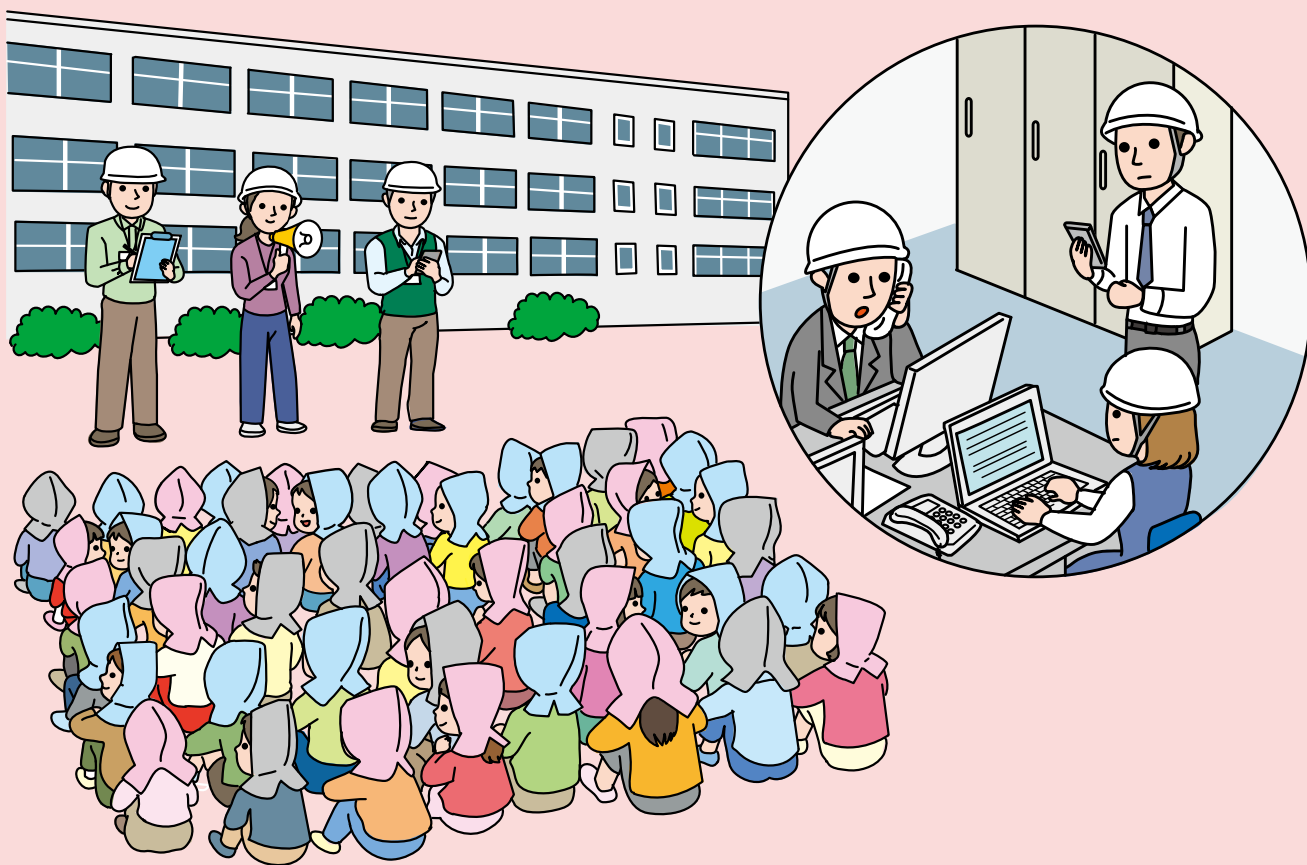


災害時の児童生徒の 安否確認 ハンドブック



 東京都



目次

大規模災害発生時における児童生徒の安否確認の重要性	01
事前準備	02
1) 児童生徒の安否確認方法	04
2) 児童生徒の安否情報の集約方法	08
3) どの連絡方法を用いるか、組み合わせるかの検討	09
4) 情報機器の選定	20
5) 保護者に連絡する安否情報の内容の検討	21
安否連絡の際の文例	22
安否確認訓練の実施	24
児童生徒の安否確認に係るQ&A	29
安否確認マニュアル（記入式）	32

大規模災害発生時における 児童生徒の安否確認の重要性

東日本大震災の際には、公共交通機関が長時間にわたり運行を停止したことにより、多数の帰宅困難者¹が発生しました。災害発生後すぐに帰宅しようとする、余震等で二次被害に遭う可能性があり、大変危険です。むやみに移動せず、安全な場所に留まることが必要です。

東日本大震災時に徒歩で帰宅した人が必要と感じた情報として、「家族の安否情報」が最も多く挙げられました。

児童生徒が所属する学校等から児童生徒の安否を保護者に連絡することができれば、保護者の不安を解消し、保護者は安心して安全な場所に留まることが可能となります。

したがって、**大規模災害の発生時には、児童生徒の安否確認を行い、その情報を適切に保護者に伝えることが非常に重要**です。

本ハンドブックは、都内各学校等の施設の安否確認連絡体制・連絡方法等の参考にさせていただくことを企図して作成したものです。今後の取組に際し、積極的に活用いただくようお願いいたします。

1 帰宅困難者とは、「災害時に外出している者のうち、近距離徒歩帰宅者（近距離を徒歩で帰宅する人）を除いた帰宅断念者（自宅が遠距離にあること等により帰宅できない人）と遠距離徒歩帰宅者（遠距離を徒歩で帰宅する人）」をいう。

事前準備

ポイント 1

安否確認が確実に行われるよう、それぞれの施設の状況に応じた安否確認方法を確立しましょう。

ポイント 2

安否情報が短時間でかつ確実に保護者に連絡できるよう、学校等における情報の集約・発信の体制を明確にするとともに、担当者の不在も想定したうえで役割分担を明確にしましょう。

ポイント 3

保護者への連絡については、利用する連絡方法の多重化を図りましょう。

ポイント 4

保護者へのメッセージの発信は、固定端末利用を基本とする場合でも、可能であれば、携帯端末からも発信できるようにしましょう。

ポイント 5

保護者への連絡メッセージは可能な限り定型化を図るとともに、必要に応じて多言語対応を進めましょう。

事前準備でポイントとなる事項は、次のとおりです。

【安否確認・情報連絡体制】

1) 児童生徒の安否確認方法 ⇒

ポイント **1**

2) 児童生徒の安否情報集約方法 ⇒

ポイント **2**

【安否情報の連絡方法】

3) どの連絡方法を用いるか、
組み合わせるかの検討 ⇒

ポイント **3**

【安否情報の連絡に利用する情報機器】

4) 情報機器の選定 ⇒

ポイント **4**

【安否情報の発信内容】

5) 保護者に連絡する安否情報の内容の検討 ⇒

ポイント **5**

※次頁以降それぞれのポイントに関連する事項について示します。

1) 児童生徒の安否確認方法

ポイント **1**

【①児童生徒の在校時間帯】

各クラスにおける当日の欠席者以外の安否を
どのように確認するのか



担任が不在の場合、あるいは体育・音楽・美術等専科の教員の授業等の場合は、どのように報告するのかを決める必要があります（担任はどのように関わるのか、関わらないのか等）。



課外授業、遠足等で児童生徒の一部若しくは全員が学校にいない場合には、引率教員が安否確認を行って報告することになりますが、引率教員の誰が全体の情報を取りまとめて、学校にいる誰に連絡するのか、事前に決める必要があります。



また、課外授業等の際には、児童生徒が小グループに分かれて行動をする場合もあるため、引率教員が安否を確認するのに時間を要することも考えられます。どの時点で学校に報告するのか決めておく必要があります（安全確保後まず大きな影響の有無を連絡、その後にも随時報告し、全員の安否確認が完了するまで報告を行う等）。

【②児童生徒の登下校時間帯】

登下校時の児童生徒の安否を どのように確認するのか



登校時で既に学校に到着している場合、及び下校時でまだ学校に残っている場合の安否確認については、前項①の対応に準じます。

児童生徒が学校と自宅の途上にある場合の安否確認の取り扱いについては、学校側の対応策を検討し、保護者会等で合意形成しておくことが肝要です。

次頁以降の事例を参考として、具体的に検討を進めてください。




参考事例

①「登下校・在宅時における避難計画」

(宮城県岩沼市立玉浦小学校)

玉浦小学校は、東日本大震災の際に津波の影響を受けた地域に立地しています。登下校時の安否確認のため、同校の避難計画では学校までの道のりを4分割し、それぞれの1/4の行程における目印となる場所と避難する施設等を保護者に記載してもらい、児童生徒の自立的な避難を促すとともに、学校が安否を確認する一助としています。

在宅時の避難場所 (家に1人有的时候)		
通学途中の避難場所 記入の仕方 ・自宅から4等分に分けた地点 ・その時の避難場所を記入する 徒歩・自転車通学のめやすとなる避難場所  スクールバスの人 ・バス停から自宅までの間 ・4等分に分けたときの地点 ・その時の避難場所を記入する ・近い場合は同じ場所でも構いません	自宅から 1/4 の地点	1/4付近の地点・目印となる場所 その時の避難する場所
	自宅から 2/4 の地点	2/4付近の地点・目印となる場所 その時の避難する場所
	自宅から 3/4 の地点	3/4付近の地点・目印となる場所 その時の避難する場所
	自宅から 4/4 の地点	4/4付近の地点・目印となる場所 玉浦小学校 その時の避難する場所 玉浦小学校

(下校時は学校から自宅までその逆になります。) ◎災害発生時、臨機応変に対応することも考えられますので、マニュアル通りにはいかない場合も想定してください。

資料:「平成28年度 学校の危機管理」(岩沼市立玉浦小学校)から抜粋

この事例を参考に、例えば自宅から1/3の行程の場合は自宅に戻る（帰る）、学校から1/3の行程の場合は学校に行く（戻る）といったルールを保護者と合意し、登校ルートのおおね1/3、2/3の行程にある目印や施設を児童生徒が理解した上で保護者が登録し、学校が管理するような方法も考えられます。



2) 児童生徒の安否情報の集約方法

ポイント **2**

各クラス等からの安否情報全体を 誰がどのように取りまとめるのか



前項で述べたとおり、児童生徒の安否情報は、校内の各クラス、課外授業等の引率教員から次々と連絡されてきます。全校児童生徒の安全を確認するためには、名簿（紙若しくはPC（エクセル表等））を学年ごとにチェックすることになると考えられます。また、チェックに当たっては、複数人数で確認する等の工夫も必要になります。



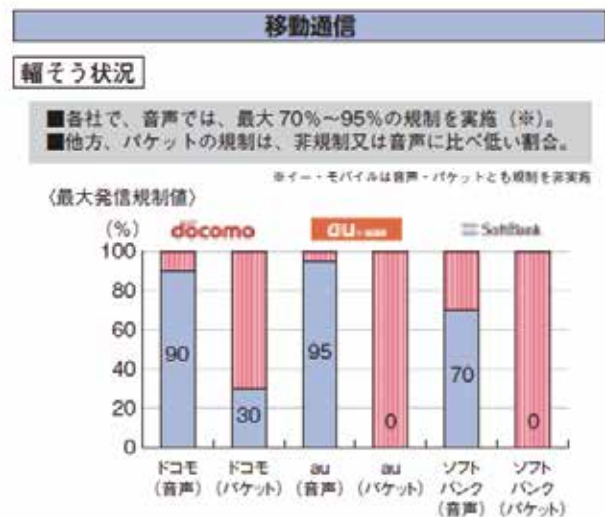
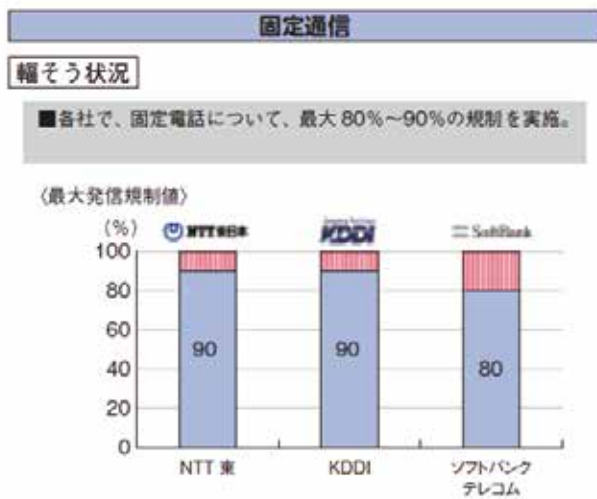
一方で、登下校時に発災した場合には、安否確認に時間を要する場合もあると考えられます。また、学校側の担当者が不在になる場合には、誰が代行するのか（優先順位をつけて複数名）についても決めておくことが必要です。



3) どの連絡方法を用いるか、 組み合わせるかの検討

災害時には電話などの通信手段がつながりにくい状況が想定されるため、安否情報の連絡には、複数の手段を準備しましょう。

東日本大震災における通信の輻輳状況



資料：「平成23年版情報通信白書」

① 情報連絡メール

現在多くの学校等で利用されているのが、情報連絡メール（一斉メールシステム）です。その大半が一斉メールシステムを一方通行の情報伝達のみを用いています。

しかしながら、登下校時に発災した場合等は、保護者から学校への連絡が必要となるケースもありうることから、双方向のメール受発信ができるほうが望ましいと考えられます。

②「渋谷区緊急メール配信システム」

(東京都渋谷区)

渋谷区では、民間事業者のシステムを用いた緊急メール配信システムを保育園・学校等に導入しています（対象は公立保育所等だけでなく、私立保育所、認定こども園等に拡大）。

導入当初は、東日本大震災後、園児の引取（お迎え）確認メールの配信に利用していましたが、平成24年度からは保育園・学校等で統一的に安否連絡に利用する運用を開始しています。

このシステムでは、非常災害以外の感染症・台風等の発生時の園児のお迎え等、定期的に連絡配信し、保護者への周知を図っています。また、アンケート機能を付けることにより保護者からの連絡を可能とする双方向型のメールシステムとなっています。

さらに、連絡配信の際に迅速に配信できるよう、状況別のテンプレート機能を活用しています。

大地震発生時には、気象庁の地震情報と連動し、自動配信が可能になる予定です（平成29年12月より運用開始予定）。また、渋谷区では外国の方も多いため、安否連絡メールについては英語併記で配信しています。

③「保育園、小中学校へのメールシステム導入」

(新潟県長岡市)

現在、長岡市内の、保育園・小中学校約80施設中約50施設が民間事業者のメール配信システムを導入しています。

このシステムでは、保護者からの返信メールを受け付けるかどうかを選択できる設定があります。

また、当該システムでは、配信した一斉メールの内容が自動的に学校のホームページにも掲載される仕組みとなっています。



② ウェブサイト

各学校等のホームページ（ウェブサイト）に、安否情報を掲載する方法も用いられています。

例えば、学校のホームページの「緊急情報」のコーナーに、『生徒の「安否情報」「避難状況」「残留状況」等を掲載します』と記載している学校もあります。ただし、学校等のホームページは多くの方が閲覧するため、個人名などの児童生徒の個人情報を掲載しないよう十分に留意してください。

しかしながら、発災時には通信が制限される、あるいは、アクセスが集中して情報が取得しづらくなる可能性があり、他の連絡方法と併用する必要があるがあります。

また、一斉メールシステムとホームページを併用している学校においては、メールの内容をそのままホームページに掲載するケースもあるようです。

なお、短時間で複数の連絡方法を用いる必要がありますので、このように、同一内容の発信を行うことは非常に効果的であると考えられます。



③ 電話

電話による安否確認も多くの施設で実施されています。

しかしながら、**電話を用いて安否情報の連絡を行うことは、時間を要することから**可能な限りほかの手段の活用も検討してください。

東日本大震災では、多くの人々が携帯電話等による安否確認等を行ったため、アクセスが集中する輻輳が発生し、回線がつながりにくくなりました。さらに、大規模な通信障害を回避するため、通信事業者は通信規制を行いました。なお、避難所や一時滞在施設に指定されている学校等には、通信の輻輳時に発信が優先される「災害時用公衆電話（特設公衆電話）」が設置されている場合がありますので、その活用も検討してください。

災害時用公衆電話（特設公衆電話）の設置場所

(<https://www.ntt-east.co.jp/cgi-bin/ptd/tokusetsu.cgi>)



④ SNS

安否情報の連絡に、SNSを利用することも効果的です。Twitter、Facebook等が利用者も多く有効な連絡手段であると考えられます。その理由は大きく2つあります。

1つ目は、保護者（場合によっては生徒）が日常的に利用しているSNSであり、安否確認の連絡に活用する場合でも、特別な操作を必要としないことです。

2つ目は、グローバルに利用されているSNSであり、東京圏内で大規模な地震が発生してもサーバーがダウンする心配が少ないことです。

一方で、SNSには、場合によってはサービス停止になることがありうることに留意しましょう。

参考事例

④「SNSの導入」

(三重県立菰野高等学校)

菰野高等学校では、名古屋圏が大きな被害を受けてもサーバーがダウンしないサービスを利用したいということで、学校から生徒・保護者への連絡はTwitter等のSNSを活用しています。

普段から馴染みのあるアプリを利用することで、生徒・保護者の登録率は高くなっているそうです。

以上、安否情報を発信するための各種連絡方法とその利用ポイントについて紹介してきましたが、最も重要なことは、「各種連絡方法を複数組み合わせた情報発信を行う」ということです。

情報発信する方法を「多重化」しておくことは、
安否情報を保護者に連絡する上で必要不可欠な取組です。

学校側が安否確認情報を取得するための手段であるとともに、児童生徒自身が安否情報を連絡（登録）する手法としても活用できるサービスについて、次頁以降で紹介します。



I J-anpi (http://anpi.jp/top)

PC（情報通信端末）やスマートフォン、携帯電話などからWebブラウザを起動し、「電話番号」又は「氏名」を入力することで、通信キャリア各社が提供する災害用伝言板および報道機関、企業・団体が提供する安否情報、Googleが提供するパーソンファインダーを対象に一括で検索し、結果をまとめて確認することができるサイトです。

English

J-anpi 安否情報まとめて検索

お名前検索

お名前

※全てひらがなを入力すると、かな名での検索ができます
(例「あんぴたろう」)

検索 >

電話番号で検索

電話番号

※ハイフンを除いて半角数字で市外局番から入力してください
※J-anpiに登録された情報、及び通信キャリア各社が提供する災害用伝言板の情報を一括して検索します。

検索 >

※本サービスの利用者は、本サービスの利用にあたってサービス利用条件が適用されることに同意したものとみなします。サービス利用条件はこちら

NTT NHK

本サイトは上記の企業・団体からの協力が提供しています。

トップページ | 本サイトにについて | サービス利用条件 | ヘルプ

Powered by goo

Copyright ©2012 NTT Resonant Inc. All Rights Reserved.

安否情報検索結果

以下の条件での検索結果を表示しています。

4件の安否情報に一致しました。

電話番号:

[→ 絞り込む条件を変えて検索する](#)
[→ 検索し直す](#)

登録日時	2012-01-03 15:00:00
お名前	あんぴ はなこ
登録情報	私は無事です。職場近くの〇〇中学校に避難しています。
情報元	NHK安否情報
登録日時	2012-01-02 21:00:00
お名前	安否 一郎
登録情報	家まで戻れず、〇〇高校に避難しています。
情報元	〇〇新聞社
登録日時	2012-01-01 22:00:00
お名前	あんぴ いちろう
登録情報	私は無事です。今日は職場ごじまりです。
情報元	NTT東日本・NTT西日本(災害用伝言板web171)
登録日時	2012-01-01 18:00:00
お名前	あんぴ たろう
登録情報	無事です。避難場所へ居ます。次郎と太郎は無事です。2人で△△小学校に避難しました。父母と連絡が取れません。
情報元	NTT東日本・NTT西日本(災害用伝言板web171)

Ⅱ 災害用伝言ダイヤル・災害用伝言板

○ 災害用伝言ダイヤル

被災地内の電話番号および携帯電話等の番号をキーとして、安否等の情報を音声情報として蓄積し、録音・再生できるボイスメールです。



○ 災害用伝言板

携帯電話・PHSのインターネット接続機能で、被災地の方が伝言を文字によって登録し、携帯電話・PHS番号をもとにして全国から伝言を確認できます。

各社トップページの「災害用伝言板」から安否情報の登録、確認が可能です。あらかじめ指定しておいた家族や友人等に、災害用伝言板に登録されたことをメールで知らせるサービスも提供しています。

【登録方法】

- 1 トップメニューから災害用伝言板を選択。
- 2 「災害用伝言板」の中の「登録」を選択。
- 3 「無事です。」等、現在の状態を選び、任意で100文字以内のコメントを入力。(状態の複数選択や、コメントのみの利用も可観)
- 4 最後に「登録」を押して完了。続いて登録内容を送信する場合は「送信」を選択。

【確認方法】

- 1 「災害用伝言板」の中から「確認」を選択。
- 2 安否を確認したい人の携帯電話・PHS番号を入力し、「検索」を押す。
- 3 伝言が登録されていると一覧が表示されるので、詳細を確認したい伝言を選択。
- 4 伝言を確認。


なお、J-anpi、災害用伝言ダイヤル・災害用伝言板については、以下のとおり体験利用日が設定されています。

- ・ 毎月1日、15日
- ・ 正月三が日（1月1日～1月3日）
- ・ 防災とボランティア週間（1月15日～1月21日）
- ・ 防災週間（8月30日～9月5日）




Ⅲ Google パーソンファインダー

(<http://google.org/personfinder/japan>)




Googleが災害発生時に提供を行う、安否確認のウェブサービスです。名前による安否情報の検索や登録ができます。

まずは、Google パーソンファインダーにアクセスしてください。 

人を探す

- 1 「人を探している」をクリックします。

- 2 探している人の姓名を入力して「この人を探す」をクリックします。

- 3 検索結果から、該当する姓名を選び、名前をクリックして詳細情報を確認できます。


安否情報を提供する

- 1 「安否情報を提供する」をクリックします。

- 2 姓名を入力し、「この人に関する情報を提供する」をクリックします。

- 3 この人を特定できる情報、この人の状況についてを入力し、「この記録を保存」をクリックすれば、完了です。




4) 情報機器の選定

安否情報を一斉メールシステムで発信するPC（情報通信端末）や、発信する担当者を事前に決めている場合でも、大規模災害の際には、そもそも担当者がPCを操作できない（設置してある部屋にたどり着けない、LANが切断している等）可能性があります。

また、PC環境は無事でも操作する権限を持つ担当者が参集できない可能性もあります。

このような状況を回避するためには、**情報発信端末として利用するPCを複数台選定し、別々の場所に設置することや、権限のある担当者が、一斉メールシステム等の情報発信システムに、校外からアクセスして情報を発信できるようにする**ことが有効です。

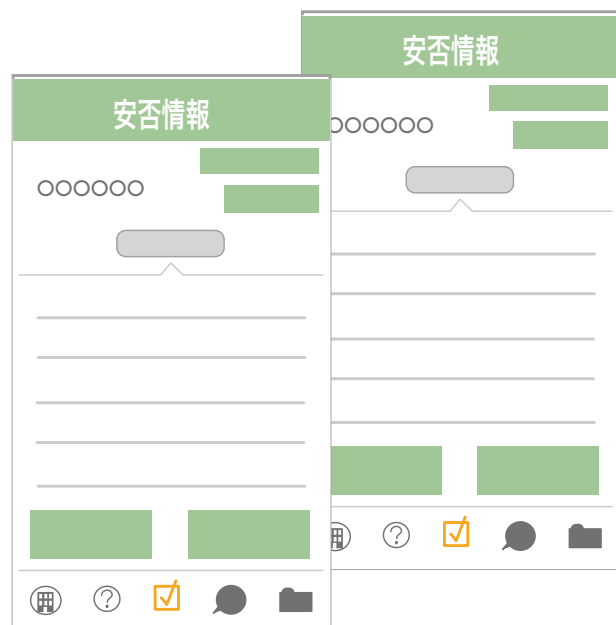
なお、アクセス権限については、特定の担当者だけでなく、他の複数の担当者に事前に付与しておくことにより、発災時に誰かが情報発信できる状況にしておくことが重要です。



5) 保護者に連絡する 安否情報の内容の検討

発災時に安否確認の情報を迅速に保護者に送るためには、発信の都度文面を入力するのではなく、文面を事前に作成し、時刻や場所等そのときにしか入れられない情報以外はパッケージ化しておくことが有効です。

次頁に安否連絡の際の文例案を日本語・英語で掲載していますので、参考にしてください。



安否連絡の際の文例

【①児童生徒が校内にいる場合】

- △時△分に地震が発生しました。本日登校（登園）している児童（生徒）は、全員無事が確認されています。
- 混乱が収まるまで、学校（施設）側がお子さんをお預かりする予定です。食糧・水の備蓄も十分ありますので、当面の滞在に何の不都合もありません。
- したがって、保護者の皆さんは、安心して安全な場所に留まってください。
- 時○分頃に、続報をお送りする予定です。

【英訳】

- An earthquake occurred at XX:XX. The safety of all students attending school today has been confirmed.
- Until the situation comes under control, we plan to keep your child under the care of the school (facility). We have sufficient provisions and water. For the time being, your child shouldn't experience any inconveniences while staying here.
- Please rest assured and remain in a safe place.
- At XX:XX we plan to send a follow-up on the situation.

【②児童生徒が校外にいる場合】

- △時△分に地震が発生しました。○年○組の児童（生徒）は、課外学習で□□□におりますが、迅速に避難することができ、△時現在、全員無事が確認されています。
- 交通機関が稼働するまで、□□□の避難所にて待機する予定です。
- したがって、保護者の皆さんは、安心して安全な場所に留まってください。
- 時○分頃に、続報をお送りする予定です。

【英訳】

- An earthquake occurred at XX:XX. The students in Grade X, Class Y were in XYZ on a field trip. They were immediately evacuated and as of XX:XX, the safety of all students has been confirmed.
- We plan to keep the students at an evacuation center at XYZ until transportation systems are operational.
- Please rest assured and remain in a safe place.
- At XX:XX we plan to send a follow-up on the situation.

安否確認訓練の実施

- 児童生徒の安否確認連絡体制を整えたら、必ず、訓練を実施しましょう。あらかじめ訓練日時や想定災害等を決め、保護者に周知した後に、定められた安否確認連絡手段による通知を行います。
- 訓練は、新学期に行うことで、例えば一斉メールシステムへの登録の不備や不具合等の早期の発見につなげることができます。
- また、訓練実施後に保護者等から寄せられた意見は、今後の防災対策に生かすようにしましょう。

安否確認訓練の実施手順（参考）

(1) 訓練に当たっての事前確認

- ・教職員や関係者（バス運転手・交通指導員等）による安否確認連絡体制
- ・安否確認マニュアルの内容
- ・使用する通信手段

(2) 教職員による児童生徒の安否確認

- ①地震発生を想定し、学校の訓練責任者から、各教職員へ児童生徒の安否確認を指示
- ②各教職員が、担当クラスや受け持ちの児童生徒の安否状況を確認

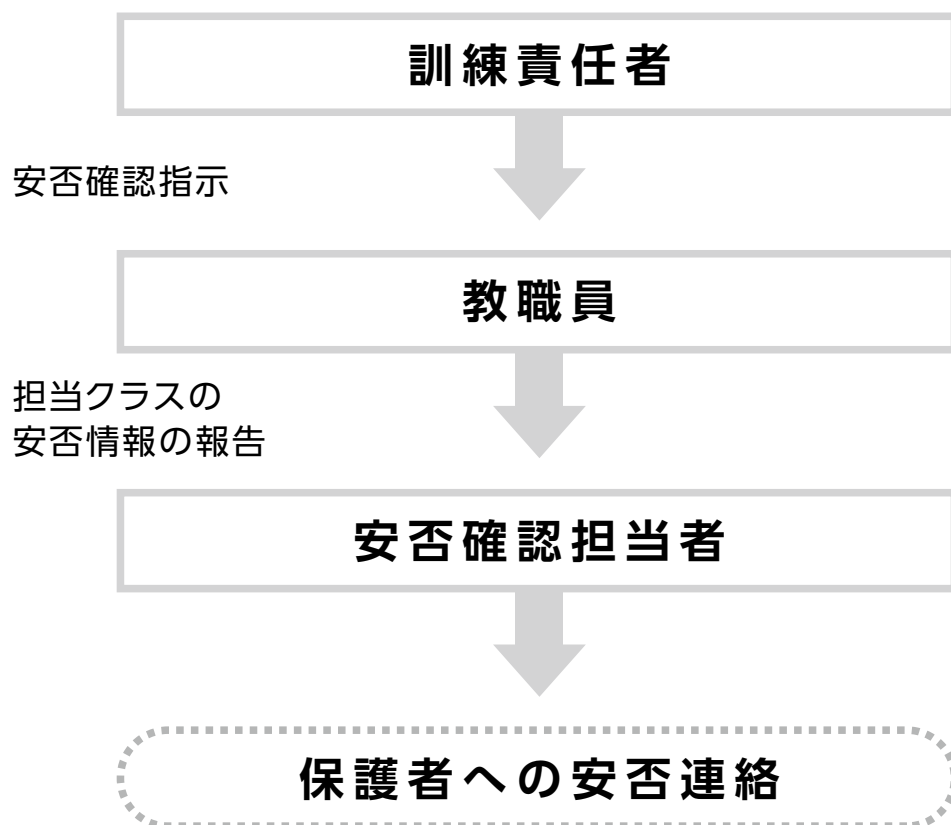
⇒安否確認担当者へ報告
(情報連絡メールシステム等使用)

(3) 学校から保護者への安否連絡

- ①安否確認担当者から、保護者への連絡（情報連絡メールシステムによる配信、ホームページ、SNS等への掲載）
- ②児童生徒・保護者から連絡がある場合、学校指定のメールアドレスへ連絡

(4) 訓練実施状況についての保護者へのアンケート等

(情報連絡メールシステム等使用)



安否確認訓練のポイント

以上の内容を訓練として行うに当たっては、避難訓練と同様に、次頁のような実施計画を作成し、学校側では、訓練としての確認すべき事項・所要時間を明確にするとともに、安否確認のために教職員が対応すべきこと、安否情報のメール配信までのプロセス等を確認しましょう。

また、保護者には事前に安否確認訓練の実施について周知するとともに、連絡体制や文面の内容について、訓練実施後にアンケート等を実施するとよいでしょう。

なお、配信したメールに対する返信を受け付けられる仕組みを既に持っている学校等であれば、保護者から「受信しました」という返信を送ってもらうことで、受信メールの情報整理に関する課題も発見できるものと思われます。



安否確認訓練 実施計画のイメージ

時間	実施内容 (シナリオ) と 確認事項	職員室の 動き	担当教職員の 動き	安否連絡に係る 留意点
13:15	○給食後、5限目の授業中に、震度6強の地震発生			
	※5年生の2クラスが社会科見学で市内の施設を訪問している想定		○訓練責任者が各クラスの安否確認を指示	○各クラス担当教職員からの安否確認情報を待つ間に、連絡用PCを起動
13:16	○緊急地震速報音を1分間鳴動	○職員室にいる教職員は、各クラスでの安否確認作業の支障の有無確認	↓	○学校滞在時発災用文例を用意
	※報告までの時間を正確に計り、目標時間の設定に活用	○安全な場所を確認し、移動手順を検討	○各クラス担当教職員が訓練責任者に報告	↓
	※まずは〇〇分以内に第1報メールを配信できることを目標とする	※配信時刻を記録		○けが人がいなければ、保護者に対して安否情報メール第1報を配信

情報連絡手段の日常的な情報発信での活用

- 災害時だけに安否確認の配信を行うのではなく、日常的な学校等からのお知らせや活動報告（行事等に係る情報等）についても積極的に活用しましょう。
- 学校行事やインフルエンザの情報等について、日常的にメールでの配信やウェブサイト、SNSへの掲載を行うことで、発災時に保護者等への情報連絡を円滑に行うことができます。日々の情報発信が災害時に向けた訓練にもなります。

※前述の「J-ampi」、「災害用伝言ダイヤル・災害用伝言板」、「パーソンファインダー」等の他の連絡手段についても、使い方を確認し、安否連絡訓練に活用できるようにしましょう。



児童生徒の安否確認に係るQ&A

Q1 停電等による通信インフラの断絶により、メールやウェブサイトの利用が出来ない場合は、どのようにしたらよいか？

A1 平成23年に発生した東日本大震災では、被災地域の通信インフラのダウンにより電話やメールが繋がらないという事態が発生しました。避難所や一時滞在施設に指定されている学校等では、災害時用公衆電話（特設公衆電話）が設置されている場合もあることから、こうした電話の活用を図ることも考えられます。また、災害時には音声通話はできない場合でも、パケットデータ通信はできる場合もあることから、施設内にバックアップ電源を確保して一定時間電源を供給することで、メール配信ができる可能性があります。

災害時には、様々な通信環境下が想定されることから、バックアップ電源対策や複数の情報伝達手段を用意して、訓練しておくことが必要です。

Q2 一斉メールシステムにより児童生徒の安否確認情報を配信することになっているが、保護者全員がメールの登録をしていない場合は、どのようにすればよいか？

A2 一斉メールシステムに登録していない保護者には、個別の電話等による連絡が必要となります。しかし、大規模災害発生時には、電話が繋がりにくい状況となっている可能性が高く、その場合には連絡を取ることが困難となります。

このため、学校等からの日常的な連絡にも一斉メールを活用し、保護者にとって便利なシステムであるという印象を持ってもらうよう工夫したり、保護者会等において、災害時の安否情報連絡の重要性を説明しながら、登録を促していく必要があります。

Q3 一斉メールシステムに登録しても、携帯電話の機種変更の際に登録の更新を行わない等、配信を希望する保護者全員への連絡が出来ない場合があるが、どのようにすればよいか？

A3 災害時等のいざというときに、確実に利用できるようにするために、日常的、あるいは定期的に一斉メール配信を行い、登録の不備を確認するとともに再登録の催促を行う等の取組を行うことが必要です。

Q4 一斉メールシステムで安否情報を配信しても、保護者がメールを受け取ったか確認が出来ない。

A4 受取りの確認をしたい場合には、保護者からの返信に対応する返信用のメールアドレスを準備することで対応が可能です。学年やクラス毎にアドレスを変えて設けることで、保護者からの返信を確認しやすくなります。

Q5 発災時に、学校内（施設内）で一斉メール配信の体制が組めるのか不安である。

A5 発災時には、児童生徒の安全の確保が最優先であり、これらの対応を行った後、保護者の方への連絡が必要となります。保護者に児童生徒の安否を速やかに連絡することにより、保護者は安心して安全な場所に留まるこ

とができます。

学校等では一斉メール配信を行う担当者を複数配置し、優先順位を予め設定して対応する体制を構築しましょう。

Q6 保護者に日本語を母国語としない外国人の方がいるため、日本語での伝達が十分でない可能性がある。どのように対応したらよいか？

A6 新学期等に該当する保護者の方とあらかじめ情報伝達の言語や方法について話しておきましょう。また、事前に想定される文章のテンプレートを作成する等、体制を整えましょう。



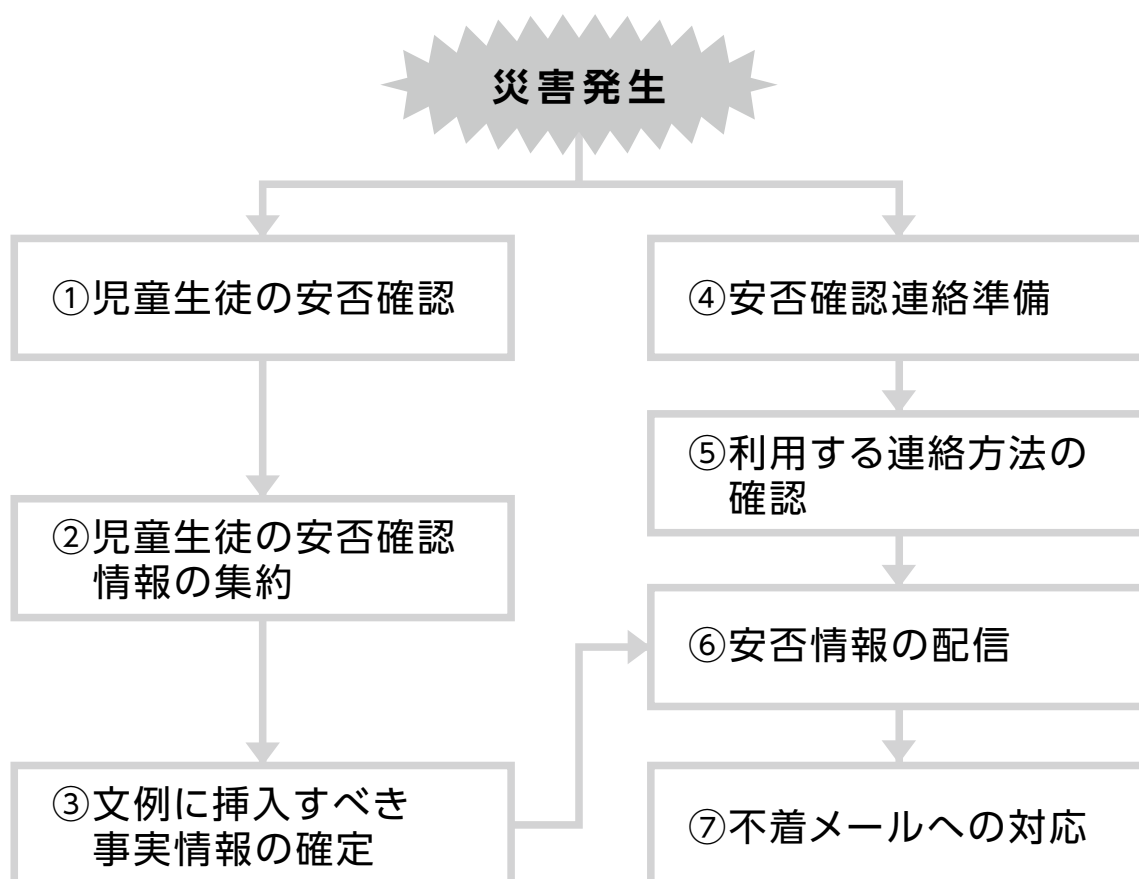
安否確認マニュアル（記入式）

— 授業時間中の発災ケースを例に —

1. 安否確認のフロー

事前準備

- 児童生徒の安否確認方法・担当者の決定
- 児童生徒の安否情報連絡方法・担当者の決定
- 児童生徒の安否情報連絡内容の検討・テンプレートの作成



それぞれの項目の内容について、記入式のマニュアルとして次頁以降に記載しています。

ただし、これらの内容は、あくまでも参考として記載していますので、それぞれの施設の実態を踏まえて記入してください。

また、項目についても適宜追加して利用してください。



2. 各フローの内容

①児童生徒の安否確認

1) 各クラスの安否確認

原則として当該クラスの担任又は授業担当教員が実施する

2) 安否情報の集約先

(担当者氏名)

■不在の場合（優先度1）

(担当者氏名)

■不在の場合（優先度2）

(担当者氏名)

3) 教室以外（トイレ、図書館等）の安否確認対応

(担当者氏名)

(担当者氏名)

Check

- 各教室確認の指示は出しましたか。
- 各教室からの安否確認情報は全て揃いましたか。

②児童生徒の安否確認情報の集約

1) 当日の出席者リストの準備担当者

(担当者氏名)

■不在の場合（優先度1）

(担当者氏名)

■不在の場合（優先度2）

(担当者氏名)

2) 安否情報のリストとの照合の実施者（学年ごと）

(担当者氏名)

(担当者氏名)

(担当者氏名)

3) 所在不明の児童生徒への対応者（校内搜索）

(担当者氏名)	
(担当者氏名)	
(担当者氏名)	

Check

- 本日登校している児童生徒の学年ごとのリストは揃いましたか。
- 安否確認に行った教職員は全員戻りましたか。
- 全ての児童生徒の安否確認人数照合は終了しましたか。
- 登校生徒数と安否確認生徒数は一致していますか。
- けがをした児童生徒はいますか。
- その情報は、現在の対応責任者に連絡済ですか。



③文例に挿入すべき事実情報の確定

担当者

(担当者氏名)

■不在の場合（優先度1）

(担当者氏名)

■不在の場合（優先度2）

(担当者氏名)

Check

- 今回連絡する文面について、文例集から選択しましたか。
- 記入した発災情報（日時、規模、震源地等）に間違いはありませんか。
- 記入した安否情報に間違いはありませんか。
- 文面全体を担当責任者が最終チェックしましたか。

④ 安否確認連絡準備

1) 利用する連絡方法の優先順位

(優先度1)	
(優先度2)	
(優先度3)	

2) 利用する連絡方法の起動・配信可能性チェック

(優先度1の確認担当者氏名)	
(優先度2の確認担当者氏名)	
(優先度3の確認担当者氏名)	

Check

- 安否情報を配信するPCは利用できますか。
- 利用できる場合、そのPCは起動していますか。
- 利用できない場合、代替手段は準備できましたか。

⑤ 利用する連絡方法の確認

原則として複数の連絡方法を選択すること

判断する責任者

(担当者氏名)

■不在の場合（優先度1）

(担当者氏名)

■不在の場合（優先度2）

(担当者氏名)

Check

- 最初に利用する連絡方法は決めましたか。
- その連絡方法が利用可能なことは確認しましたか。
- 次に利用する連絡方法は決めましたか。
- その連絡方法が利用可能なことは確認しましたか。

⑥ 安否情報の配信

配信内容の最終確認と送信指示者

(担当者氏名)

■不在の場合

(担当者氏名)

Check

- 確定した文面であることを確認しましたか。
- (メールで配信する場合)
To: 及びCc: 欄に保護者のメールアドレスは入っていませんか。
- 送信指示者の指示で送信しましたか。



⑦ 不着メールへの対応

1) リターンメールの保護者名確認者

(担当者氏名)

(担当者氏名)

2) 代替手段を判断する責任者

(担当者氏名)

■不在の場合（優先度1）

(担当者氏名)

■不在の場合（優先度2）

(担当者氏名)

Check

- リターンメールのアドレスが誰の保護者のものか確認できましたか。
- 改めて連絡するための代替手段を決めましたか。
- その対応をいつ実施するか決めましたか。



災害時の児童生徒の安否確認ハンドブック

平成29年11月発行

印刷番号 29 (36)


編集・発行 東京都総務局総合防災部防災管理課

東京都新宿区西新宿二丁目8番1号

電話番号 03 (5388) 2485

印刷 株式会社サンワ

災害時の児童生徒の
安否確認
ハンドブック

 東京都